

昭和59年度アカガイ天然採苗調査

川村 要・千葉 熙・宝多 森夫・奈良八三郎・横浜 昌夫
 浜田 勝雄・本間 直吉・長津 司

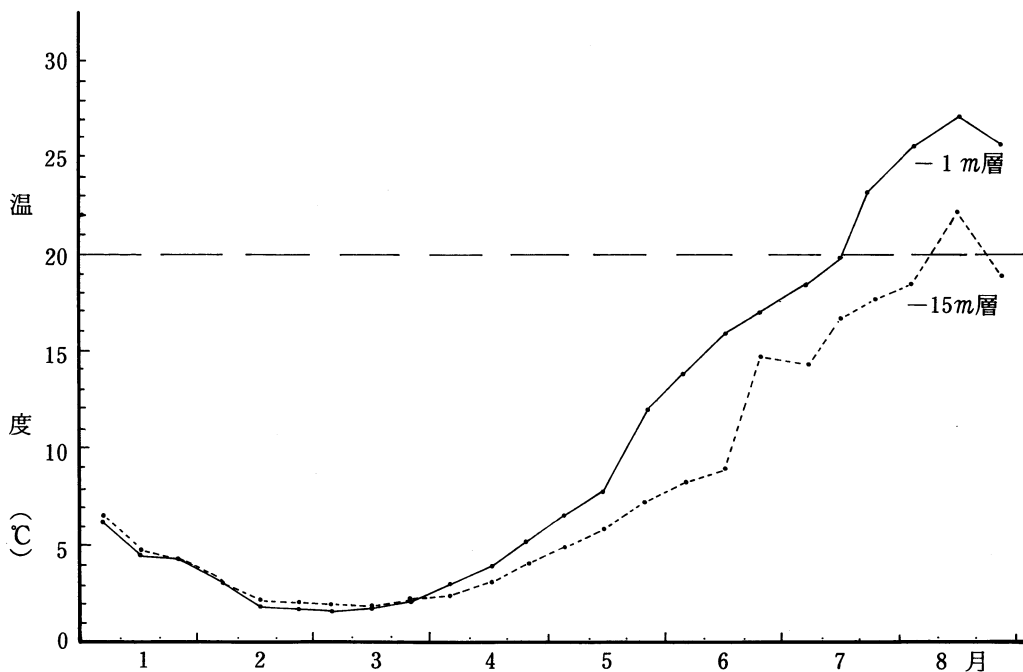
1 母貝成熟状況調査

むつ市地先の芦崎湾に放流し満6年を経過したアカガイを対象として、7月2日から8月12日の間に4回合計32個について肉眼で成熟状況を調査観察した。

それによると水深4mにおける本年度のアカガイの産卵時期は、7月下旬から8月上旬頃であろうと思われた。(第1表)また、川内沖における本年度の水温変化を第1図に示したが、アカガイの産卵は、現場の水温がおおよそ、20℃前後に達した頃におこなわれたものと思われた。

第1表 母貝の成熟状況

調 査 月 日	母 貝 成 熟 状 況 (生殖巣肥厚個体の割合を%で表わした)	
7 月 2 日	N = 8	75%
7 月 25 日	N = 6	100%
8 月 4 日	N = 8	75%
8 月 12 日	N = 10	40%

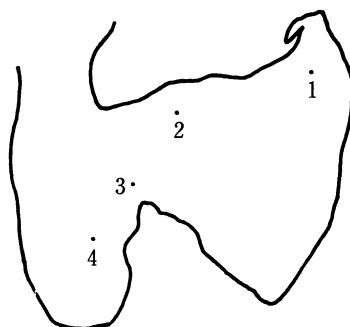


第1図 本年の水温 (川内ブイ)

2 浮游幼生調査

浮游幼生調査は図-2に示した4地点で8月27日から9月13日の間に3回実施した。幼生の出現状況は第2表に示したとおり海水1トン当りでも最高4個と採苗不良が予想された。

本調査に出現した幼生は、その成長段階から見て7月下旬から8月中旬に産卵したものと考えられ、付着時期は9月上旬から9月中旬であろう。



第2図 浮游幼生調査地点

第2表 浮游幼生出現状況

調査月日	調査地点	水深 (m)	水温 (℃)	採水量 (ℓ)	浮游幼生の出現状況	
					個体数	殻長(μ)
59. 8. 27	2	5	22.8	500	1	200
		10	22.5	500	0	
		20	21.4	500	1	230
		30	14.4	500	0	
	3	5	22.8	500	0	
		10	22.6	500	1	220
		20	21.5	500	0	
		30	21.0	500	0	
		40	19.4	500	0	
59. 9. 3	1	5	22.4	500	0	
		10	22.4	500	2	230、250
		20	22.2	500	0	
	2	5	22.5	500	1	
		10	22.4	500	0	
		20	21.9	500	0	
		30	17.9	500	0	
	3	5	21.8	500	0	
		10	21.5	500	1	220
		20	21.6	500	0	
		30	19.7	500	0	
		40	19.1	500	0	
	4	5	22.4	500	0	
		10	22.3	500	0	
		20	21.8	500	0	
		30	21.0	500	0	
		40	20.2	500	0	
59. 9. 13	2	5	22.1	500	0	
		10	21.8	500	0	
		20	21.9	500	0	
		30	21.2	500	0	
	3	5	22.5	500	0	
		10	22.4	500	1	240
		20	22.4	500	0	
		30	22.2	500	0	
		40	22.0	500	0	

3 付着稚貝調査

付着稚貝の調査は第3図に示した3地点で8月下旬から9月中旬の間に3回に分けて採苗器を投入して実施し、それらへの稚貝の付着状況については昭和60年2月15日及び16日に調査した。

採苗器の稚貝付着状況を第3表に示したが、稚貝の付着数は最高でも1袋当たり3.4個と少なかった。稚貝の成長については、昭和60年2月現在3.5~12.0mmであり良くなかった。



第3図 付着稚貝調査地点

第3表 採苗器1袋当たりの稚貝付着状況（3~5袋平均）

調査地点	投入時期 投入水深		59年 8 月 27 日	9 月 1 日	9 月 15 日	殻 長 (平均)
			個	個	個	mm
1	1 m		0	0	—	
	2 m		0	0	—	
	3 m		0	0	—	
2	10 m		0	—	0	
	15 m		0.2	—	0	
	20 m		0.2	—	0	
3	6 m		3.4	—	—	3.5~12.0 (6.9)
	10 m		0.8	—	—	4.0~ 5.5 (4.9)
	15 m		1.8	—	—	5.0~12.0 (7.6)